

India Weekly

2019年8月13日

eastspring
investments

(対象期間：2019/8/5～2019/8/9)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2019年8月9日)

【株式市場】

インド政府がジャム・カシミール州の自治権をはく奪したことを受けて、週初の株式市場は下落しました。その後、7日の金融政策決定会合での利下げ期待などから上昇しました。7日の利下げ幅は0.35%と市場予想を上回りましたが、株式市場は反落しました。週後半は、一部の外国人投資家にもかかるとされていた超富裕層への増税に関して、外国人投資家への適用が撤回されるのではないかと期待で株式市場は上昇し、週間でも上昇となりました。

2019/8/2	2019/8/9	変化率
37,118.22	37,581.91	+1.25%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2019年8月9日)

【債券市場】

7日の金融政策決定会合の結果への思惑を背景に、週前半の債券市場は上下する展開となりました。7日には市場予想の0.25%を上回る0.35%の利下げが行われましたが、一部には0.5%の利下げ期待もあったことから、インド10年国債の価格は下落（利回りは上昇）となりました。週後半は、翌週に発表される予定の消費者物価を前に警戒感から売りに押される展開となり、週間でもインド債券市場は下落しました。

2019/8/2	2019/8/9	変化幅
6.352	6.498	+0.146

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2019年8月9日)

【為替市場】

週初に中国元安でアジア通貨が全般的に下落する中、ルピーはジャム・カシミール州を巡る地政学リスクが懸念されたこともあって対米ドルで下落し、週間でも下落となりました。円が対米ドルで上昇したことから、対円でも下落しました。

2019/8/2	2019/8/9	変化率
1.538	1.495	-2.76%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することをご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。